

健康経営への取り組み

<健康宣言>

私たち中日新聞印刷株式会社は、社員の健康を重視し「健康経営」の実現に向けて取り組んでいくことを宣言いたします。

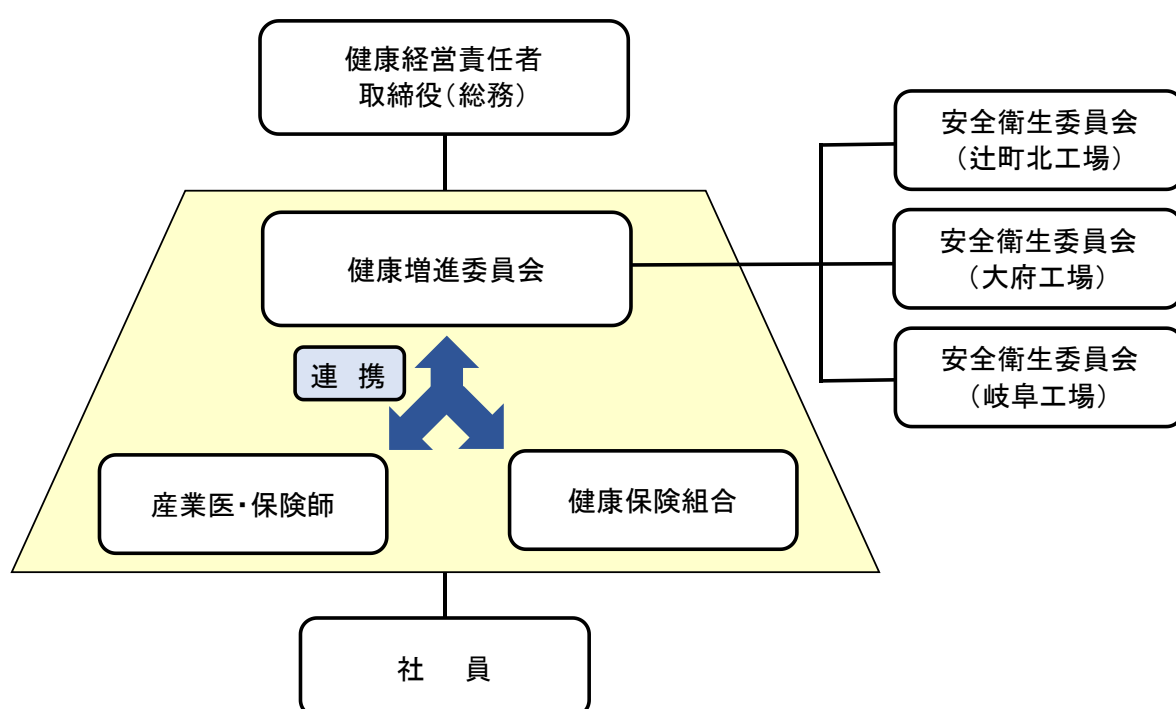
新聞印刷は、深夜の勤務が中心となり不規則な勤務体制です。健康の維持管理は、より一層の重要性が求められています。

社員のこころとからだの健康保持・増進を経営課題として、健康で生き活きと働ける職場づくりを目指します。

健康宣言者 代表取締役社長 三品 敦

<健康経営推進体制>

取締役（総務）を責任者とし、各工場の安全衛生委員会の委員長をメンバーとする健康増進委員会を創設。様々な視点から具体的で効果の高い取り組みの考案・実施を進めていきます。



<健康経営への取り組み>

1. 定期健康診断、人間ドックの実施

毎年、社員に対して法令で定められている定期健診のほか希望者への婦人科検診などを実施。35歳以上の社員には定期健診か人間ドックを選択できる制度を設け、受診率100%を達成しています。

健康診断の結果を受けて、本人への再検査や精密検査へ受診勧奨を行うとともに、二次健診費用の補助も行っています。

2. ワークライフバランスの推進

ワークライフバランスを実現するため、勤怠管理システムを活用して従業員の勤務時間の把握や定期的なノー残業デーの設定、有給休暇取得の推奨などを行っています。

労働時間への意識を高め、業務の効率化を図り、長時間労働者には産業医との個別面談もサポートしています。

育児や介護のための短時間勤務等の制度も導入しています。

3. 治療と仕事の両立支援の取り組み

社員が安心して働けるため、疾病を抱えた従業員の勤務時間や配属、勤務内容など、産業医と連携して対応し、その本人の状況に応じた働き方を実現しています。

メンタルヘルス対策として、早期の不調者の発見を目的に毎年ストレスチェックを実施しています。

4. 感染症予防対策

毎年、インフルエンザの季節には、健康保険組合を通じて予防接種者への補助を行っています。

5. 健康宣言事業への参加

健康保険組合連合会愛知連合会が行っている『2025年度健康宣言チャレンジ事業所』に認定されています。社員や家族が、健康の保持・増進のために計画的に取り組めます。

